

ぐるり福岡まち歩き

- 5 七つ井戸
- 4 黒田家墓所
- 3 宇喜多興家墓
- 2 妙興寺の大イチョウ
- 1 教意山妙興寺



①教意山妙興寺
(きょういさんみょうこうじ)

教意山妙興寺本尊は三宝尊、脇侍は四天王。応永10（1403）年、播磨の国主・赤松則興の子、日伝上人によって創建された日蓮宗の寺院です。本堂には鬼子母神がまつられており、毎月8日の晩に鬼子母神講が開まれています。



③宇喜多興家（おきいえ）墓

岡山城を築いた宇喜多直家の父興家は、福岡の豪商・阿部善定の保護を受けてこの地で過ごしました。天文5（1536）年に病死し、墓とも供養塔とも伝えられるものが妙興寺にあります。



④黒田家墓所

黒田官兵衛孝高（如水）の曾祖父高政のものと伝えられる墓石が妙興寺にあります。慶長6（1601）年、官兵衛の子長政が博多の西に城を築き始め、祖先の故地にちなんで福岡城と名づけたといわれています。



⑥仲崎邸（国指定登録有形文化財）
地元名棟梁のもとに最高の技と素材が集結した名建築で、「福岡千軒」と謳われた「商都」の繁栄をも彷彿させます。



**⑩備前福岡郷土館
(旧平井内科医院)**

大正3（1914）年に建てられた洋風の建物で、100年前の病院の佇まいを今に残す建築を外観からお楽しみください。
また、平井家は、「ひとのためにつくす心」をモットーに地域に密着した医療に多大な貢献をされました。

- 6 仲崎邸

- 7 中世守護城下町
ひだりひずみ
巻と歪

- 8 葉王寺跡

- 9 古い町並み

- 10 備前福岡郷土館

- 11 東原邸
棟梁の家

- 12 繩文埋れ木

- 13 福岡の市跡

- 14 木野山神社
恵美須宮

- 15 四ツ角と市場小路

- 16 福岡一文字碑

- 17 福岡城跡の丘

- 18 地蔵堂

- 19 福岡
だんじり庫

- 20 牛神様

- 21 実教寺跡

- 22 摩利支天堂



⑪東原邸 棟梁の家

大正初期に建てられた古民家。仲崎邸を建てた大工の棟梁の自宅。これまで培った大工の技を惜しみなく体现しています。いわば大工の技のショールーム。国宝「一遍聖絵デジタルコンテンツ」も観ることができます。案内ガイド常駐し公開しまち歩きも受け付けています。

●土日祝 10時から14時 開館

●入館料 200円



⑬福岡の市跡

福岡の市は、鎌倉時代福岡庄で開かれていた市で、日本最古の常設市といわれています。弘安元（1278）年、一遍が福岡の市で説法する様子を描いた国宝『一遍聖絵』は、当時の風俗を知るうえでも貴重なものです。

■平成18（2006）年3月より、毎月第4日曜日に現代版備前福岡の市が復活しています。（4月と11月は大市）



⑯福岡一文字造剣之地碑

福岡の名が天下に知れ渡るようになったのは福岡一文字によってです。福岡一文字は長船とともに名刀の代名詞になりました。

※山鳥毛は福岡一文字最盛期に作られたとされる日本刀で、上杉景勝の愛刀の一振りとされる。（国宝）

中世の歴史に彩られたまち

備前長船

ぐるり福岡 まち歩き 一周ガイド



の
市

第4日曜日
毎月開催

備前福岡まち歩き

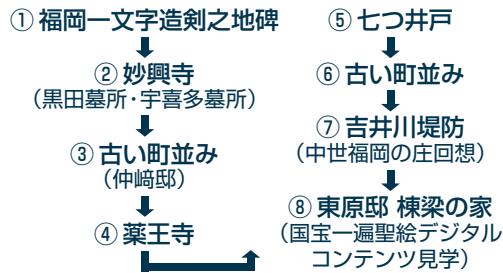
来られえ！見られえ！歩かれえ！

まちのあちこちに隠れている
お宝と一緒に探ししましょう！



モデルコース 90分程度（応相談）

1 備前福岡 ぐるり一周コース



2 備前福岡 寺社巡りコース

3 中世備前福岡の市と 現代備前福岡の市を巡るコース

4 「備前福岡名所町七口 七つ井戸七小路」巡りコース

5 福岡一文字派刀剣と戦国武将 (黒田・宇喜多) 巡りコース

参 加 費

1人：600円（4人以上の場合）

※1～3人の場合：1グループ 2,000円

お 申 込 み

「希望日時」「お名前」「人数」「希望コース番号または
希望案内先」「お電話番号・メールアドレス」を記入の上、
原則希望日の7日前までに

メール：bfguide@ichimonji.ne.jp
FAX：0869-26-8052

まで、お申込みください。（電話：090-4140-9785）

〒701-4265 岡山県瀬戸内市長船町福岡 1588-1

備前福岡案内ガイド協会事務局

備前福岡の歴史的有名な事項

奈良時代	最古の史跡「薬王寺」跡 今も残る「旦過（たんが）」の地名が当時の賑わいを物語る。
平安時代	「福岡」名の初見（1165年） 「福岡の庄」として南部一条院記録に記載される。16の村からなる18kmの広大な地域だった。
鎌倉時代	福岡一文字派黄金期（平安末から鎌倉中期） 国宝「山鳥毛」の代表される「華麗さ」が特徴。後鳥羽上皇の御番鍛冶12名中7名が福岡一文字派刀工だった。 福岡の市一巡査（じゅんしゃく）（1278年） 歴史教科書にも載る福岡の市開催地。日本最古の常設市といわれる。 中世の商都として繁栄（鎌倉から室町にかけて） 守護・守護代が置かれたであろう山陽道第1級の都市だった。刀を中心に売りさばくことで福岡の豪商が誕生したといわれている。
室町時代	將軍足利尊氏福岡駐留（1350年） 冬季に8000騎を連れて40日間滞在。 3大寺院体制 薬王寺に続き実教寺（1377年）、妙興寺（1403年）建立。江戸初期まで続く。 福岡の合戦（1467～1485年） 戦国時代の幕開け、応仁の乱と同時に始まり、3次にわたり、赤松・浦上と山名・松田両軍により福岡城攻防戦が行われた。 黒田高政、福岡に移住（1511～1525年頃） 近江の国で追放処分となり、その年の暮れに福岡に流れ着く。1523年に高政は死去し、妙興寺に墓がある。その子重隆と孫職隆（官兵衛の父）は、その後播磨に移り小寺家に仕官し出世の道を歩む。黒田家秘伝の「目薬」で財を成したといわれる。 宇喜多興家直家父子福岡に移り住む（1534年頃） 豪商阿部善定のもとに身を寄せる。結果宇喜多家と福岡の豪商が結びつく。興家はこの地で死去し、妙興寺に墓がある。
安土桃山時代	岡山城下町福岡の商人移住（1573年頃より） 宇喜多直家の岡山城下町づくりに伴い、当時福岡の商人1000軒中800軒が岡山に移住したといわれている。 天正の大洪水（1591年） 天正年間は多くの洪水に見舞われ、特にこの年の大洪水は吉井川の流れを変えてしまい、福岡が東西に分断され寒村になってしまふ。長船も刀工が激減する。
江戸時代	（筑前）福岡城完成（1607年） 黒田官兵衛・長政父子が、黒田氏ゆかりの備前福岡の地名にちなみ、当時の地名「福崎」を「福岡」と改め福岡城とした。これが福岡藩・福岡市・福岡県となつた。 備前福岡復活への道 池田藩の「在町」指定（1642年）を機に、再び商売が復活した。 赤穂城主池田輝興の福岡への蟄居（ちっきょ）（1645年）を機に、城下町並みの再整備が行われた。「備前福岡名所町七口七つ井戸七小路」という言葉が生まれる。
近代	第2次大戦中（1943年）、福岡周辺が首都遷都の計画の第1候補となる。 戦後しばらくまでは、「福岡に行けば何でもそろう」といわれ、「地方都市」的側面も維持していた。
現代	現代版備前福岡の市・大市始まる。（2006年） 夢街道ルネサンス「備前福岡七小路往来」認定（2008年） 瀬戸内市景観条例「景観形成重点区域」に指定（2009年） 国宝一遍聖絵デジタルコンテンツ完成（2011年） 仲崎邸オープン（2014年） 東原邸棟梁の家オープン（2024年）